



新潟市補助事業

さかい輪

第10号
平成24年3月

発行責任者
原 明彦

コミュニティ協議会は安心・安全なまちづくりを目指します。

〈地域安全マップ特集号〉

全県コンクール
優秀賞
受賞

▶参加してくれた新潟小と
坂井東小の子ども達

▼受賞したチーム
「坂井輪安全探検隊」

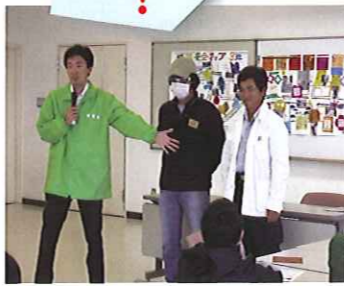


子どもと地域を犯罪から守るために
楽しく役立つ
「地域安全マップ」をつくりました！

子どもが作る 地域安全マップ in 坂井輪

十月十五日、新潟小と坂井東小の子ども達が地域安全マップを作りました。
小路や空き地など、どんな所が危なくてどんな所が安全なのかについて新潟県警の遠山さんから指導を受けた後、子ども達は自分の目で確かめながら地域を歩いてみました。
マップは、グループで歩いて、話し合いながらまとめていくことが

大切です。グループは両小学校混成の異年齢で作りました。
子どもが目線が危ないと思う場所や安全だと思う場所を、このフィールドワークで気がついたことや、近所の人にインタビューしたことなどを地図に表しました。
個性的な5つのマップができあがりしました。その中の「坂井輪安全探検隊」のマップは、十一月十二日に開かれた全県コンクールで、新潟県教育長賞(優秀賞)を受けました。



▲あやしい人ってどんな人？

▼指導してくれた新潟県警の遠山さん



違う小学校の人と同じグループになれてよかった。

自分で写真が撮れてよかった。

地図には絵をたくさん入れてわかりやすくなりました。

子ども達の感想

危険な所を細かく書きました。

チンプンカンプンの地図になったけどいいと思いました。

地図を作るのに折り紙とか使ったのがよかった。

一人では歩かないようにします。

安全な場所と危険な場所の細かいところがわかった。

少し地図の位置がずれたけどよくできたと思う。

フィールドワークが楽しかった。

【インタビュー】

大切なのは、子どもの犯罪回避能力を養うこと。



手前から新潟県警 増田久夫さんと新潟県警 遠山春則さん
コミ協 原会長

今回指導に来てくださった新潟県警の増田久夫さんと、新潟県警遠山春則さんに、コミ協の原会長がお話を聞きました。

原 子どもが作る安全マップは、今まで大人が作ってきた安全マップとはどう違うのでしょうか？

増田 大人がマップを作製して子どもに配布しても、それを読んだ子どもの記憶にどれだけ残るでしょうか。これでは子ども一人ひとりの被害防止能力の向上は期待できません。子どもが実際に自分で歩いて友達と協力しながらマップを作製して、下級生に教えたり地域の大人に発表することでさらに記憶に残るのです。

遠山 子ども安全マップの取組みは日本全国で行なわれています。立正大学の小宮先生が「犯罪は、犯行できる場所のできる」という「犯罪機会論」を提唱したのが始まりです。

原 安全マップの認識を改めるために大人も学ばねばなりませんね。

増田 大人に対する講演会も行なっています。

原 ぜひ、また来ていただきたいです。今日はありがとうございました。

子どもが作る安全マップの取組みは子どもの生活範囲で行うと効果があります。

自治会での取り組みをお勧めします。また、子ども達が専門家から指導を受けながら作ることが大切です。

県警の指導者を紹介いたします。

「コミ協子ども部長」までお問い合わせ下さい。

問090(4811)0294 郷

大切な自分を守るために!!
必ず読んで下さい。



- ① 地域安全マップづくりで学んだ「危険な場所」に行かないこと。
- ② どうしても「危険な場所」に行かなければならないときは、ひとりでいかないこと。(友達と一緒に行く。親に迎えにきてもらう。)
- ③ どうしても「危険な場所」にひとりで行かなければならないときには、まわりの様子に十分注意し、絶対に気をゆるめないこと。(防犯ブザーを使う準備をする。車に近づかない。誘われたり頼まれたりしても断る。)



「坂井輪安全探検隊」



「ピンクファイブ」

発表会

上手に話せるか
ドキドキ!!



「いっちゃんファミリー」



「安心まちづくり同盟」



「防はん(班)チーム」



床のほうが作りやすいよ

マップ作り

みんなで協力して作ります。



この場所が大事だね



ここも危険だったよ



手の折り紙も貼るね



こんなふうにしてみる

楽しいお弁当タイム



▲まち歩きから戻って、みんなで食べる
おいしいお弁当

犯罪が起きにくい のはこんなところ



花が植えられている道路は、水やりの人が
出てくるので、犯罪は起きにくい。



「子ども110番の家」に
インタビュー

▶「子ども110番の家」の看板

「子ども110番の家」の看板の
お店や民家はなにかあったら
すぐに駆け込むことができます。

子ども 110番の家



近所の人にインタビュー

▲大人の人にインタビューしました。
子ども達は、地域には自分達を守っ
てくれる大人が大勢いることに気が付
きました。



危険な場所を
探しにいこう!!

危険な場所は こんなところ



人の目が届きにくいところ



建物の陰になっている空き地
(車道から入りやすい)



ゴミや放置物が多いところは、人の目がない証拠

グループでフィールドワーク (子どもたちが撮影しました)